

和 楽 演 奏

琴 60 慰 問

・・・懐かしい演奏に 惜しみない拍手・・・

施設サービス課　齊藤 太志

彼岸も過ぎ　此処数日 朝夕は幾分 秋らしい気候になってきましたが、日中は残暑の厳しい日が続きます。9 月 25 日（金）に和楽器「琴 60」（代表 澤田 勝美さま）と有志 8 名による和楽の演奏会がありました。多目的ホールに入所者の方を誘導すると、琴 9 台が並べられており「お琴の生演奏やね」「あの楽器は 何？」と反応は色々でした。

琴と聞くと“大正琴”をイメージしていましたが、13 弦琴の搬入を見て驚きました。琴を置く台（箏立奏台）・椅子まで全て持参・搬入され、雨が降らなくて良かったなと思ったのは私だけ・・・。

14 時に開演し、さっそく生演奏が開始。「荒城の月」「炭坑節」「東京行進曲」「黒田節」「さくら」「影を慕いて」「船頭小唄」など　懐かしい楽曲が演奏されました。歌詞カードみながら、一緒に歌ったり 手拍子をされていました。楽しかった時間も 瞬く間に終わってしまい、最後の演奏が終わった際には、名残惜しい表情も見られ　非常に印象的な光景を目の前にしました。

利用者の方より 自然と「アンコール！アンコール！」と掛け声と拍手が起こりました。リクエストに応えて　再度「炭坑節」が演奏され、「曲に合わせて 手を動かしましょう！」と提案されました。手拍子と共に　数名の方が前に出て　曲に合わせて踊られる方・椅子に座った方は手ぶりで踊る方もあり、入所者と職員も一緒に楽しむことができ、非常に盛り上がりました。惜しみない拍手が送られ お開きとなりました。

感想を尋ねると「よかった！」「こんなに近くで 生演奏を鑑賞でき 幸せです」「音色が綺麗」といわれる方もいれば、「琴の糸は何で出来ているの？」「重さはどれくらい？」と質問される場面もあり、代表の方が答えておられました。和楽器の音色の素晴らしさを改めて感じる憩いの時間となりました。ご厚意に感謝申し上げます。ありがとうございました。音楽鑑賞中の Photo を掲載します。

ビチピチは お肌じゃなく 服の方
ムリするな 言われながらも やりたがる
経験が 老害になる 新時代
リーダーが 惚けたらヤバイ 渡り鳥

令和 8 年　金木犀